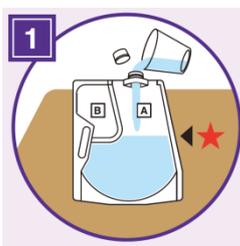
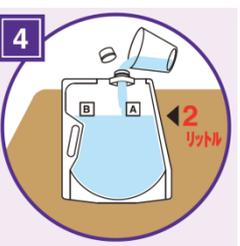
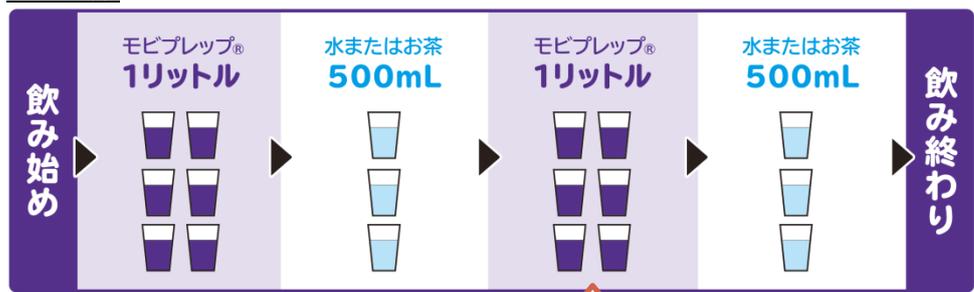


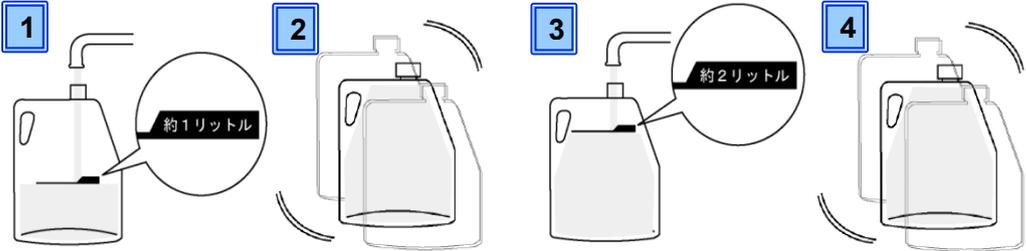
【6】 インシデント事例からの注意喚起

院内インシデント報告の中から、医薬品を安全に使用するために注意すべき事例などを挙げています。

経口腸管洗浄剤の適切な使用方法について

大腸内視鏡検査を行う際の前処置に使用する経口腸管洗浄剤について、誤った方法で使用された事例が報告されています。今回、各経口腸管洗浄剤の使用方法をまとめましたので、ご参照ください。

| 薬剤名 | 用法用量、注意事項等 |
|--|---|
| <p>モビプレップ配合内用剤 (科限定)</p>  | <p><前準備：調製方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①★印まで水を加える。 ②キャップを閉め、上からバッグを押してA剤とB剤の隔壁を開通する。 ③袋をよく振り、粉末を溶解する。 ④さらに、2Lの印まで水を加える。 <p>※お茶やジュース、スポーツドリンク等での溶解は不可。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>★の目印まで 水を入れる</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上から押す</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>よく振って 粉末を溶かす</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2リットルまで 水を入れてよく振る</p> </div> </div> <p><服用方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①本剤コップ1杯（約180mL）あたり10～15分を目安に服用する。 ②本剤を1L服用したら、水またはお茶をコップ3杯（約500mL）摂取する。 <p>※摂取してよい水分は、水、お茶（煎茶、番茶、ウーロン茶、麦茶）、紅茶（砂糖・ミルク不可）のみ</p> <ol style="list-style-type: none"> ③便がほぼ透明な水様便になれば服用を終了する。 ④不十分な場合には、ほぼ透明な水様便になるまで、再度本剤を1杯（約180mL）ずつ追加服用する。本剤の最大投与量は2L（1袋）とし、2Lを超える投与は行わないこと。また、モビプレップの服用が終了した後は、服用した液量の半量の水またはお茶を摂取する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>便がほぼ透明な水様便になれば、1Lに満たなくても服用は終了</p> </div> |

| 薬剤名 | 用法用量, 注意事項等 |
|---|---|
| モビブレップ配合内用剤 (つづき) | <p><その他の注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ■大腸内視鏡検査前処置に使用する場合 検査当日の朝食から絶食（水分摂取は可）とし、検査開始予定時間の約 3 時間以上前から投与を開始する。 ■大腸手術前処置に使用する場合 手術前日の昼食後から絶食（水分摂取は可）とし、昼食後約 3 時間以上経過した後、投与を開始する。 |
| ニフレック配合内用剤  | <p><前準備：調製方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①1L の目盛まで水を加える。 ②キャップを閉めてよく振り、完全に溶解する。 ※冷たい水で溶解した場合、溶けにくいことがあるため注意する ③再び 2L の目盛まで水を加える。 ④ヤップを閉めてよく振り、完全に溶解する。 <p>※お茶やジュース、スポーツドリンク等での溶解は不可。</p>  <p><服用方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①本剤をコップ 1 杯（約 180mL）ずつ、ゆっくり服用する。 ※服用開始から 2～3 杯は、コップ 1 杯あたり 15 分以上かけて服用し、その後は、1 時間あたり 1L の速さで服用する。 ②排泄液が透明になった時点で投与を終了し、4L を超えての投与は行わない。 <p><その他の注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ■大腸内視鏡検査前処置に使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・検査当日に投与する場合：当日の朝食から絶食（水分摂取のみ可）とし、検査開始予定時間の約4時間前から投与を開始する。 ・検査前日に投与する場合：前日の夕食後から絶食（水分摂取のみ可）とし、夕食後約1時間以上経過した後、投与を開始する。ただし、前日の朝食、昼食は残渣の少ないもの、夕食は固形物の入っていない液状食とする。 ■バリウム注腸X線造影検査前処置に使用する場合 検査当日の朝から絶食（水分摂取のみ可）とし、検査開始予定時間の約6時間前から投与を開始する。また、モサプリドクエン酸塩と併用する。 ■大腸手術前処置に使用する場合 手術前日の昼食後から絶食（水分摂取のみ可）とし、昼食後約3時間以上経過した後、投与を開始する。 |

| 薬剤名 | 用法用量, 注意事項等 |
|--|---|
| <p>ピコプレップ配合内用剤 (科限定)</p>  <p>※薬剤の溶解に使用可能な飲料と、服用時に摂取可能な飲料の種類は異なります</p> | <p><前準備：調製方法></p> <p>①付属のコップの150mLの目盛まで、水を入れる。 ※お湯、お茶やジュース、スポーツドリンク等は不可。</p> <p>②水を入れたコップに本剤を1包加える。</p> <p>③2～3分かき混ぜ、完全に溶解させる。 ※本剤を水に加えると、発熱する可能性がある。服用時には十分に冷ますこと。</p>  <p><服用方法></p> <p>検査または手術の前日と当日に分けて2回投与する場合、検査又は手術の前日に2回投与する場合がある</p> <p>①本剤の1回目の服用後は、1回250mLの透明な飲料を数時間かけて最低5回摂取する</p>  <p>②2回目の服用後は1回250mLの透明な飲料を検査又は手術の2時間前までに最低3回飲む。</p>  <p><その他の注意点></p> <p>■検査または手術の前日と当日に分けて2回投与する場合 検査または手術の前日は低残渣食、当日は透明な飲料のみとし、検査または手術前日の夜および検査または手術当日の朝（検査又は手術の4～9時間前）の2回経口投与する。</p> |

| 薬剤名 | 用法用量, 注意事項等 |
|---|---|
| <p>ピコプレップ配合内用剤 (つづき)</p> | <p>■検査又は手術の前日に2回投与する場合 検査または手術の前日は低残渣食, 当日は透明な飲料のみとし, 検査または手術前日の夕および1回目の服用から約6時間後の夜の2回経口投与する。</p> <p>■透明な飲料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明な飲料の合計は2L以上必要となる。総飲量の半量以上がお茶やソフトドリンクなど水以外の種類となるよう摂取すること。 ・摂取可能な透明な飲料は, お茶, スポーツドリンク, 具のない透明なスープ, 透明なリンゴジュース, 透明な色の炭酸飲料, 水など。 |
| <p>マグコロールP</p>  | <p><服用方法: 高張液投与のみ></p> <p>本剤を専用のコップに入れ, 1包あたり180mLの水で溶解し, よくかき混ぜる。そのうち, 144~180mLを検査予定時間の10~15時間前に服用する。</p> <p>※当院の採用薬は50g/包製剤であり, 原則, 等張液投与(本剤100gを水1800mLで溶解)は不可</p> |
| <p>ビジクリア配合錠 (科限定)</p>  | <p><服用方法></p> <p>大腸内視鏡検査開始の4~6時間前から, 本剤を1回あたり5錠ずつ, 約200mLの水とともに服用し, 15分毎に計10回(合計 本剤50錠, 水2L)繰り返す。</p> <p><その他の注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回あたりの服用量は数回に分けることができるが, 15分以内に5錠すべてを飲みきること。 ・水の摂取量は1回200mL, 合計2Lであり, 指定された量以上の摂取は不可。 ・大腸内視鏡検査前日の夕食は翌日の経口投与開始12時間前までに終了させ, 夕食後は, 大腸内視鏡検査終了まで絶食(水分摂取のみ可)とする。 ・摂取不可の飲料は, コーヒー, アルコール類, スポーツ飲料水, 乳性飲料(牛乳, 飲むヨーグルト), 砂糖や固形物が入っている飲料など。 |

参考文献: 添付文書, インタビューフォーム, 製薬会社ホームページ